

年金事務所では予約による年金相談を行っております

来所される際は事前に電話で予約をお願いします。

予約いただくと・・・

- ①お客様のご都合に合わせて、スムーズに相談できます。
- ②相談内容に応じてスタッフが事前に準備のうえ、対応します。



- 予約受付時間は平日午前8時30分から午後4時までです。
- 予約相談希望日の1か月前から前日まで受け付けしています。
- 連絡の際は、基礎年金番号の分かる年金手帳や年金証書をご準備ください。

問合せ 秩父年金事務所 ☎27-6560 音声ガイダンス 1→2
町民生活課 保険年金担当 ☎62-1232

みなとの歴史散歩

No.14

皆野町の神楽
椋神社神楽・日野沢大神社神楽



社会教育担当
馬場 羽瑠桂

神楽ってなんだろう？

神楽は祭りに際して神を迎え、神前で奉納される芸能で、いくつかの種類に分けられます。巫女神楽：神に仕える巫女による舞

湯立神楽：祭場の中心に湯釜を据え、巫女や神職が参拝者に湯を振りかけ、けがれを祓い清める

太神楽：余興の曲芸をとり入れて、大道芸として発展した神楽

出雲流神楽（里神楽・太々神楽）

：面をつけない素面の舞と着面の舞踊劇を舞う

関東地方の神楽は、古くは巫女神楽や湯立神楽が中心でしたが、近世後半になると、出雲流神楽が主流となりました。

秩父の神楽

秩父で現在行われている神楽のほとんどは、出雲流神楽です。出雲流神楽は、神事的要素が強く筋立てのない素面の舞と、何らかの物語を題材にした着面の舞（「岩戸開き」、「大蛇退治」など）を組み合わせた構成をしています。

椋神社神楽・日野沢大神社神楽

ともに秩父神社系統の神楽になります。秩父神社系統は、秩父の神楽のなかでも古い様式を伝え、秩父市を中心に皆野・長瀨方面に分布しています。特色として天鈿女命が神楽殿前に吊してある釜の中から湯を被る所作をする「湯笹」の舞があります。この舞は、県内では現在伝承されていない湯立神楽の要素をもっています。

椋神社神楽は秩父市蒔田から伝習しました。もとは根岸区

稲荷社に奉納していたものですが、昭和四十年の合祀の際に、稲荷社は椋神社に所属し、神楽殿も稲荷社から椋神社に移築しました。椋神社秋季例大祭（十月）や椋神社節分祭（二月）などで奉納されます。

日野沢大神社神楽は、明治十四年頃に秩父市太田から伝習し、日野沢大神社奥社祭（十月）、本社例大祭（十月）などで奉納されます。最近では、秩父華厳の滝ヒーリングナイトでも舞われています。



日野沢大神社神楽



椋神社神楽